

発注企業動向調査結果

-2024.3-

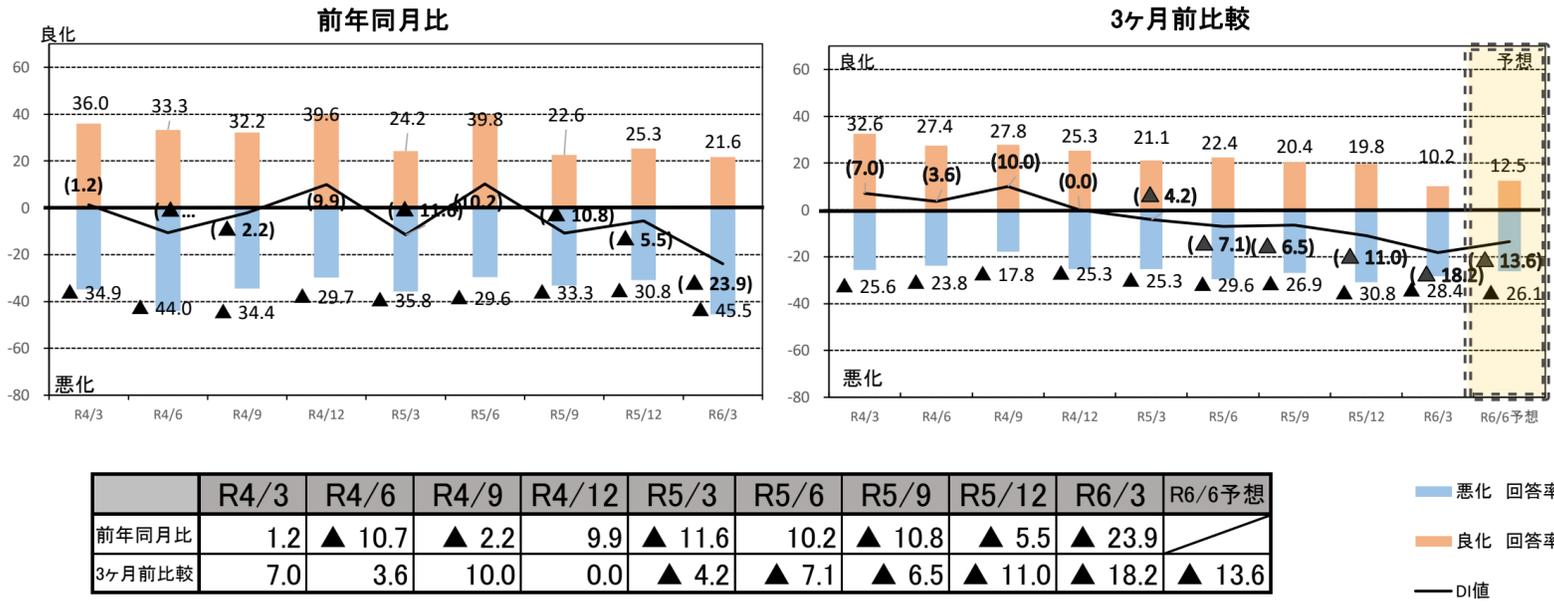
- 調査時点 令和6年3月調査(令和6年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 88社(回答率:58.67%)

<業種内訳>

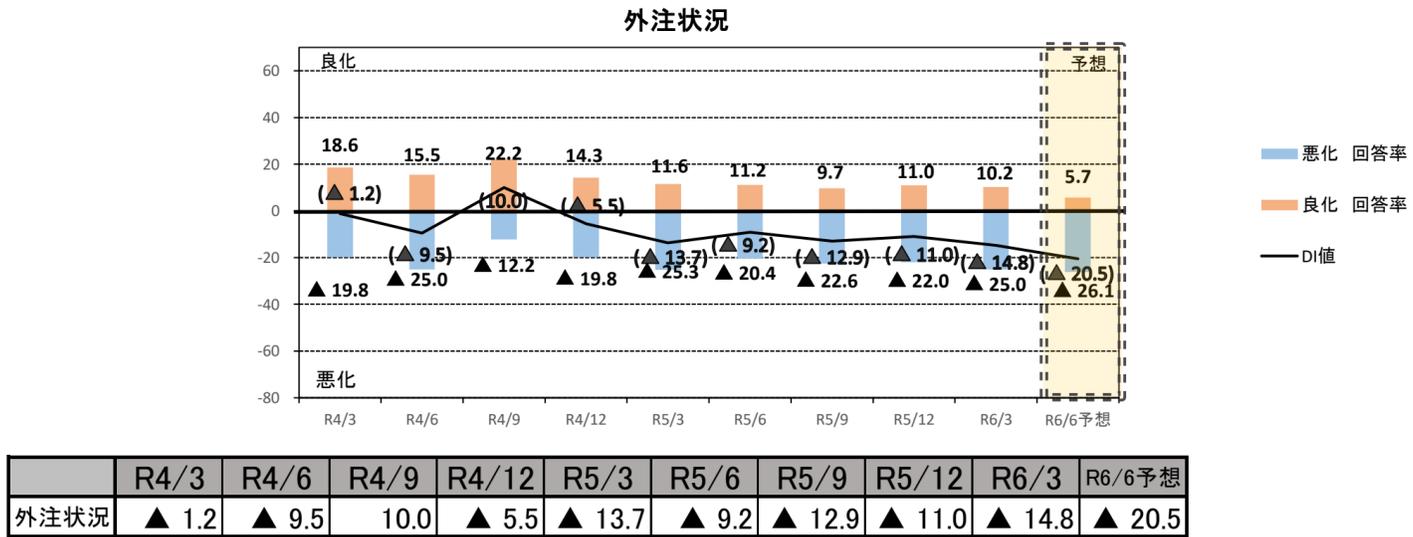
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	9社
一般機械器具	12社
電気機器	22社
輸送用機器	18社
精密機器	3社
縫製	4社
計	88社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲23.9で前回の▲5.5から18.4ポイント減となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲18.2で前回の▲11.0から7.2ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲14.8で前回の▲11.0から3.8ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲13.6、外注状況が▲20.5という予想になった。
- ・その他自由意見として、
 - ・賃上げに苦戦している。
 - ・海外生産に移行している傾向がある。
 - ・低迷している半導体分野の動向が少しずつ動き出しているように感じる。
 - ・'23年度よりは少し受注が増える見込みである。
 - ・建機業界は'24年~'26年は低迷期と言われている。'27年'28年で再度ピークを迎える。
 - ・'24年度は第1四半期以降は全体的に受注減傾向。第1四半期から半年遅れで産業機器関連の受注増。第2四半期より新規車載関係で受注増。産業機器関連の受注減及び遅れ気味の傾向がある。
 - ・震災の影響にて部品供給が滞り生産減となったが、今後5月から挽回計画で増産が継続する予定。人材の確保に注力する。
 - ・需要の見通しが立てにくい状況にある。高卒定期採用を積極的に実施したい。
 - ・3ヶ月前と比較しやや減少傾向。回復を望む。

という意見が寄せられた。